



発行
 公益社団法人福島県防犯協会連合会
 福島市舟場町2番1号
 福島県庁舟場町分館3F
 ☎024-573-0699
 FAX 024-573-2833
<https://www.bouhanfukushima.com>
 印刷 (株)民報印刷

令和7年中の被害状況

●なりすまし詐欺

204件、13億4,942万円 (+84件、+9億4,578万円)

	令和7年中		令和6年中		比較増減	
	件数	被害金額(万円)	件数	被害金額(万円)	件数	被害金額(万円)
なりすまし詐欺	204	134,942	120	40,364	+84	+94,578
詐欺	192	132,701	112	39,848	+80	+92,853
オレオレ詐欺	110	108,139	30	30,099	+80	+78,040
預貯金詐欺	6	352	12	1,131	-6	-779
架空料金請求詐欺	56	13,410	57	5,930	-1	+7,480
融資保証金詐欺	5	635	4	206	+1	+429
還付金詐欺	11	2,808	5	681	+6	+2,127
金融商品詐欺	1	6,950	0	0	+1	+6,950
ギャンブル詐欺	0	0	1	65	-1	-65
交際あっせん詐欺	2	377	2	1,416	±0	-1,039
その他	1	30	1	320	±0	-290
キャッシュカード詐欺	12	2,241	8	516	-4	+1,725



【特徴】

- オレオレ詐欺、架空料金請求詐欺で被害全体の約8割(81.4%)を占める
- オレオレ詐欺被害の件数、金額が大きく増加
- 警察官をかたるニセ警察詐欺被害が激増
オレオレ詐欺被害110件中104件(94.5%)がニセ警察詐欺の手口による被害



●SNS型投資・ロマンス詐欺

140件、21億91万円 (+30件、+9億2,140万円)

	令和7年中		令和6年中		比較増減	
	件数	被害金額(万円)	件数	被害金額(万円)	件数	被害金額(万円)
SNS型投資・ロマンス詐欺	140	210,091	110	117,951	+30	+92,140
投資詐欺	71	132,306	49	40,466	+22	+91,840
ロマンス(投資)	58	68,685	49	72,972	+9	-4,287
ロマンス(その他)	11	9,100	12	4,513	-1	+4,587



【特徴】

- 接触種別(投資勧誘、出会い)を問わず、最終的に投資等の資産運用に誘導される被害が全体の9割以上(92.1%)を占める
- なりすまし詐欺と比較して1件あたりの平均被害額が多額になる傾向が強い
SNS型投資・ロマンス詐欺被害:約1,500万円
なりすまし詐欺被害:約661万円



被害防止対策の徹底を!

- 国際電話番号が詐欺に悪用されています。国際電話番号を利用しない方は、固定電話は「国際電話番号の利用休止申請」、スマートフォンは「警察庁推奨アプリ」の活用をお願いします!

- 注意点等をまとめた「警察版・親父の小言」を県警ホームページに掲載しています。印刷可能なので、トイレに掲示するなどして活用し、日頃から防犯意識を高めてください!

令和7年全国防犯功労者・防犯功労団体表彰

【令和7年9月25日(木) 東京：明治記念館】

令和7年の全国防犯功労者・功労団体には、福島県から次の方々を受賞されました。

長年のご尽力に敬意と感謝を申し上げます。



防犯功労者 (敬称略)

<防犯榮譽金章>

- 菅野 豊 (郡山北地区防犯協会連合会)

<防犯榮譽銀章>

- 木下 昭夫 (福島地区防犯指導隊)
- 千葉 正秀 (会津美里地区防犯連絡所協議会)

<防犯榮譽銅章>

- 瀬谷 一雄 (いわき南地区防犯協会連合会)
- 小野 民子 (いわき東地区防犯協会連合会小名浜支部)
- 志賀 政行 (相馬地区防犯指導隊中部分隊)
- 根本 安知 (富岡地区防犯指導隊広野分隊)
- 渡邊 義和 (福島北地区防犯指導隊北信分隊)
- 佐藤 榮朗 (会津若松地区防犯指導隊)

防犯功労団体 (敬称略)

- 本郷こまわり隊 (会津美里 代表:西田 健)

地域安全標語

通学路 地域ぐるみで パトロール

地区防犯協会・ボランティア団体の活動紹介

大島地区防犯協会（郡山市）



大島地区防犯協会では、大島地区防犯指導隊や開成山交番と共に、青色回転灯を装備した防犯パトロール車で各所を巡回しています。地域住民の防犯意識の高揚と犯罪被害防止に尽力しています。また、管内にある大島小学校周辺において、下校時の見守り活動を実施しており、地域ぐるみで子供たちを守る体制を整えています。

浪江地区防犯指導隊（浪江町）



平成6年に発足した浪江地区防犯指導隊は、鈴木隊長以下、熱意ある隊員らが「自分達の町は自分で守る」とのスローガンのもと、精力的な活動を実施しています。年金支給日における詐欺被害防止広報、祭場地における防犯警戒等に加え、令和7年には、保健所との合同による薬物乱用防止キャンペーンを実施するなど、幅広く顔の見える活動を展開しています。

《《補導員の手記》》

親がすべきこと

小学生のうちから自分専用のスマートフォンを持ち始める子どもが増えた現在、インターネット利用をきっかけにして起こるトラブルが大変目立っています。

そして、トラブルに関わった子どもの保護者から話を聴くと、「スマートフォンを使って何をしているのかは、子どものプライバシーがあるのでよく分かりません。」と堂々と主張する方も珍しくありません。

もちろん、子どものプライバシーを軽視することはできませんが、十分な判断力が育まれていない中で重視しすぎると、保護者の知らないところでトラブルを起こすきっかけとなります。

以前、ある男子中学生が、女性の胸などを触ったわいせつ事案が発生しました。

私が、男子中学生の母親から日頃の様子などについて聴いたところ、「息子は、見ていた限り変わった様子はなく、部屋の中を見てもエロ本などを隠し持っていたりすることはありませんでした。しかし、今回の件を受けて改めて息子のスマートフォンの中を確認したら、検索履歴が性的な内容ばかりだったのです。息子がこんなに性に関心があるとは知りま

福島県警察本部

人身安全・少年課

会津少年サポートセンター

主任少年警察補導員

花見 好美



せんでした。」と語り、今まで知ることのなかった息子の性的関心の高さに驚きを隠せない様子でした。

さらに話をしていく中で、母親は、「スマートフォンを息子に持たせたきりにせず、何に使っているのかをもっと確認していれば、このようなことにはならなかったかもしれません。」と後悔の言葉を述べていました。

スマートフォンは、とても便利な機能が多く、今となっては大人も子どももなくてはならないものになりつつあります。

一方で、スマートフォンの使い方を誤ると、関心の赴くまま、偏った知識や必要以上の情報を与えてしまいます。

好奇心の塊である小・中学生は特に影響を受けやすく、大人が予想もできないようなトラブルにつながるケースも多々見られます。

子どものプライバシーも大切ですが、何よりも、子どもたちが安全にインターネットを楽しめるよう、「スマホで何してんの?」、「誰とつながってるの?」と一歩踏み込んだ関わりをして、子どもを成長させていくことが親の務めだと思います。